

Encore

年に一回開催してきたこのリサイタルシリーズも 25 回目を迎えました。四半世紀を節目として、今回はアンコールと題しこれまで歌ってきた曲の中から一夜のプログラムを組みました。優れたしかし演奏される機会の少ない曲を紹介していこうという思いを抱き、既に 500 曲以上を歌ってきましたが、そこから選曲しプログラムとしてまとめるのは何とも楽しく贅沢な時間だったことでしょう。勿論、絞り切れずため息することもありました。一夜限りのアンコール、どうぞお楽しみくださいませ。

内藤明美



Am Flügel

Seiya Hirashima

Mezzosopran

Akemi Naito

メゾソプラノ 内藤明美

長崎県出身。

お茶の水女子大学卒業。東京藝術大学大学院修士課程修了。高橋大海、中山悌一の各氏に師事。

ドイツ・シュトゥットガルト音楽大学リート科・オペラ科にて研鑽を積む。

ブラームス国際コンクール声楽部門、セルトゲンボッシュ国際声楽コンクールに入賞し、ドイツを中心に放送録音や音楽祭にてリサイタル、教会音楽のソリストとして活動する。レパートリーは多岐にわたり、今回で 25 回となるリサイタルシリーズにおいては、演奏される機会の少ない優れた歌曲紹介に務め、このシリーズで日本初演となった歌曲も多い。これまで、コルンゴルト、キルピネン、L. ブーランジェ、ラウタヴァーラ、エベン、ツィンマーマン等の作品を取り上げている。『ヘッセとリルケをうたう』『シェックとマルタンをうたう』『シュレーカーをうたう』『月に憑かれたピエロ』『架空庭園の書』は文化庁芸術祭参加公演として催された。詩と音楽への深い共感から紡ぎだされる演奏は常に高い評価を受けている。

CD アルバム『現代リート軌跡』『ブラームス歌曲集』をリリース。

現在、東邦音楽大学大学院・同大学教授。教務部長を務める。二期会会員。日本声楽アカデミー会員。

ピアノ 平島誠也

長崎市出身。

中野章三郎氏にピアノを師事。

武蔵野音楽大学卒業後、シュトゥットガルト芸術大学でコンラート・リヒター、チューリッヒ音楽院でアーウィン・ゲイジに学ぶ。スイスのルツェルン歌劇場専属コレペティートルとなり、多くのオペラ公演に携わった。またソプラノ歌手シルヴィア・ゲスティの伴奏者としてヨーロッパ各地でコンサートを行い、帰国後も声楽リサイタルの伴奏者として様々な歌手と共演し、CD 録音も多数行っている。

桐朋学園大学、東京芸術大学で後進の指導にあたった後、昭和音楽大学及び大学院と国立音楽大学で伴奏法の講座を持っている。